



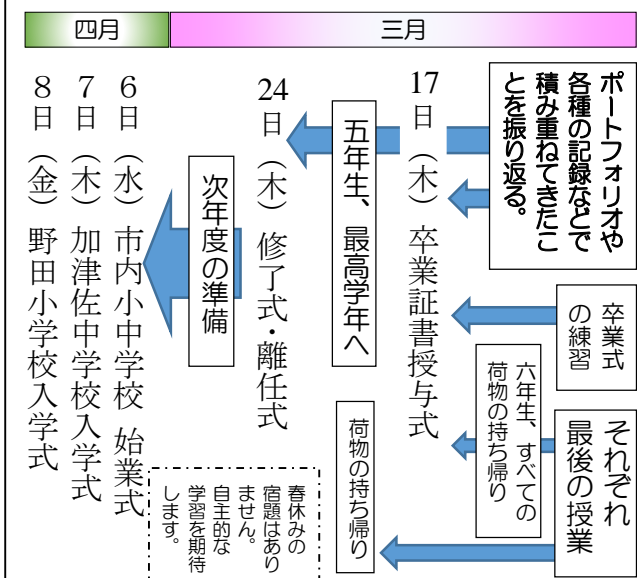
野田小学校 学校だより

# 南風の丘から

学校づくりのモットー  
明るく楽しく美しく  
校長 大嶋博之

## 本年度のまとめと 来年度への準備

早いもので本年度もあと一カ月足らずとなりました。この時期に大切なのは、自分ややってきたことを肯定的に振り返る(悪いことも)ことからスタートだと考える」とともに「次への準備をしっかりとやる」ということです。卒業する六年生は中学校生活を、在校生は一学年上がった自分の姿をイメージして、いいスタートのために、今できる準備をしてほしいと願っています。

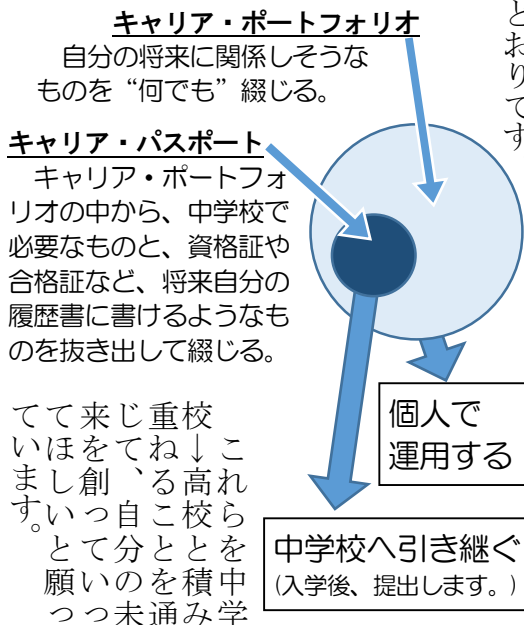


## 未来へ向けて学び続ける

「まさか…」と思うようなことが、私たちの身の回りに起きています。

- ・人口が減る(それも急激に…)。
- ・天気が度を過ぎて荒れる。
- ・ロボットが仕事を(仕事を奪う)。
- ・何もかもデジタルになる。
- ・大地震と津波の発生が近いと言われている。
- ・突然、となりの国が攻め入って来る。
- ・その他、いろいろ…。

児童たちが生きる未来には、さらに大きな変化があると言われています。これらの中で子どもたちを求めているのは、「学び続ける力」です。全児童には「キャリア(自分の学び、実績、経験、資格など)」を綴る二つの「ポートフォリオ」を持たせています。これらの役割や関係は次のとおりです。



《コラム あかね雲》

## 東日本大震災の教訓

あの日から十一年、私たちが交わす会話に震災関連のことが少なくなっていることから思うことは、「備え」は、まだ続く現実を正確に共有することから始めなければということです。

《東日本大震災関連データ/復興庁資料から》  
行方不明者数…二千五百二十七人  
避難者数…三万八千三百三十九人  
災害関連死者数…三千七百八十四人

今、南海トラフにかかる地震と津波の発生が危惧されています。その時、何が起きるのか、その後どんな苦しみが続くのか、その想像力が求められています。

## 《 主な行事予定 》

- 《3月》  
17日(木) 卒業証書授与式  
18日(金) 午前中授業設定日～23日  
24日(木) 修了式、離任式

- 《4月》  
6日(水) 着任式、始業式  
7日(木) 給食開始(新2～6年生)  
午前中授業設定日～8日  
8日(金) 入学式(1年生の給食は14日から)  
13日(水) 歓迎行事(歓迎集会・遠足・海岸清掃・砂の造形、要弁当)  
15日(金) PTA総会、専門部会、学級部会

※二分の一成人式(4年生)は、日程を含めて調整中です。



《心に響いた言葉》 「はやく6年生になりたいと思いました。」

「6年生を送る会」を終えた林田君(4年生)の感想から



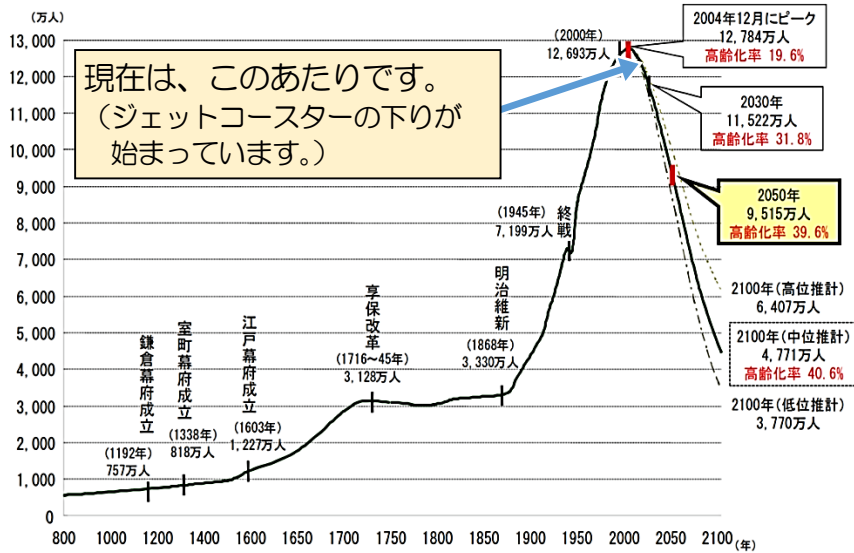
シリーズ「令和の日本型教育」とはなんぞや？  
〈第十回〉

## 「人口動態等を踏まえた

## 学校運営や学校施設等の

## 在り方について」について

左は、これまで幾度となく紹介してきた「日本の長期人口推移と予測／国土交通省」のグラフです。ここでは、どんなに対策を講じても、今後八十年は人口が急激に減ることが確定していることが見て取れます。



現在は、このあたりです。  
(ジェットコースターの下りが始まっています。)

野田地区では、このような全国的な傾向よりもっと急激に人口が減ることが予想されます。この中で子どもたちにもどのような教育環境を整えるかということに真剣に考えていかなければなりません。

なお、学校規模の適正化（学校の統合等）については、ここで論ずるものではないので省きます。（私見ですが、本来、学校の統廃合は一つの学年で二学級以上になることを目指すものですが、この減少スピードの中では改善効果は薄いかも…と思っています。）

そこで、文科省がまとめている「人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設等の在り方について（令和二年六月十八日）」で取り上げられている全国の取組例を紹介します。

《取組の例》

- ・ 学校間の連携、ネットワークの構築
- ・ 合同授業・合同行事等の実施
- ・ 保護者や地域との連携・協働

本校では現在、次の取組を行っています。

- ・ 加津佐小学校との合同修学旅行
- ・ 特別支援学校との交流授業
- ・ 保護者による読み聞かせ
- ・ 各種PTAの支援活動（読み聞かせ、草刈など）
- ・ 広く参加者を募る普賢岳登山など（抜粋）

今後これらに加えて、パソコンを活用して他校（または他県、他国）とつながったり、地域の人たちと交流したりして、もっと多様な取組を行いながらピンチをチャンスに変える取組をしていかなければと考えています。



ふるさとの文化・歴史・人物——野田小教育の視点から

## 「岩戸山」

先日、本校の児童に触発されて（彼女は、山頂で朝食をとり、読書するのがお決まりのコースとのこと）、加津佐の岩戸山に初めて登りました。この山の入口にある階段は、加高高校生のとき、陸上部の練習で学校から走って行って、ダッシュしたり腕立てジャンプしたりした青春の(?)場所ですが、階段の先には行く気になれませんでした。（この山の名のちり紙も使っていました。）

今回、あらためて訪れて分かったのは、この山は、ジオパーク的にも歴史的にも精神文化的にも深みのある場所だということでした。

- ・ 岩戸山は、古名を岩殿山と呼び、観音道場のあった霊地です。
- ・ 岩戸山は約百五十万年前に海底で噴火した火山です。（現地案内板から）



岩戸山頂からの御来光

身近なところに悠久の歴史や大自然の営みを感じる場所があることを子どもたちに教えてもらい、この体験ができたことに感謝した一日でした。

## 【お知らせ】

先日の「六年生を送る会」の様子を、児童の端末パソコン（四〜六年生）で見ることができるようになりましたので、お子様を通じてどうぞ御覧ください。

一方、一〜三年生の端末は、フィルタリングの設定が来年度四月以降になると市教委から連絡がありました。「三月には」と期待していた児童にとっては残念感が大いだと思いますので本当に心苦しく思っています。御理解くださいますようお願いいたします。